

前 金	部 分 払
有	一 回

令和 6 年 度
下 工 公 補 第 1 1 号

安濃処理分区公共下水道工事設計書

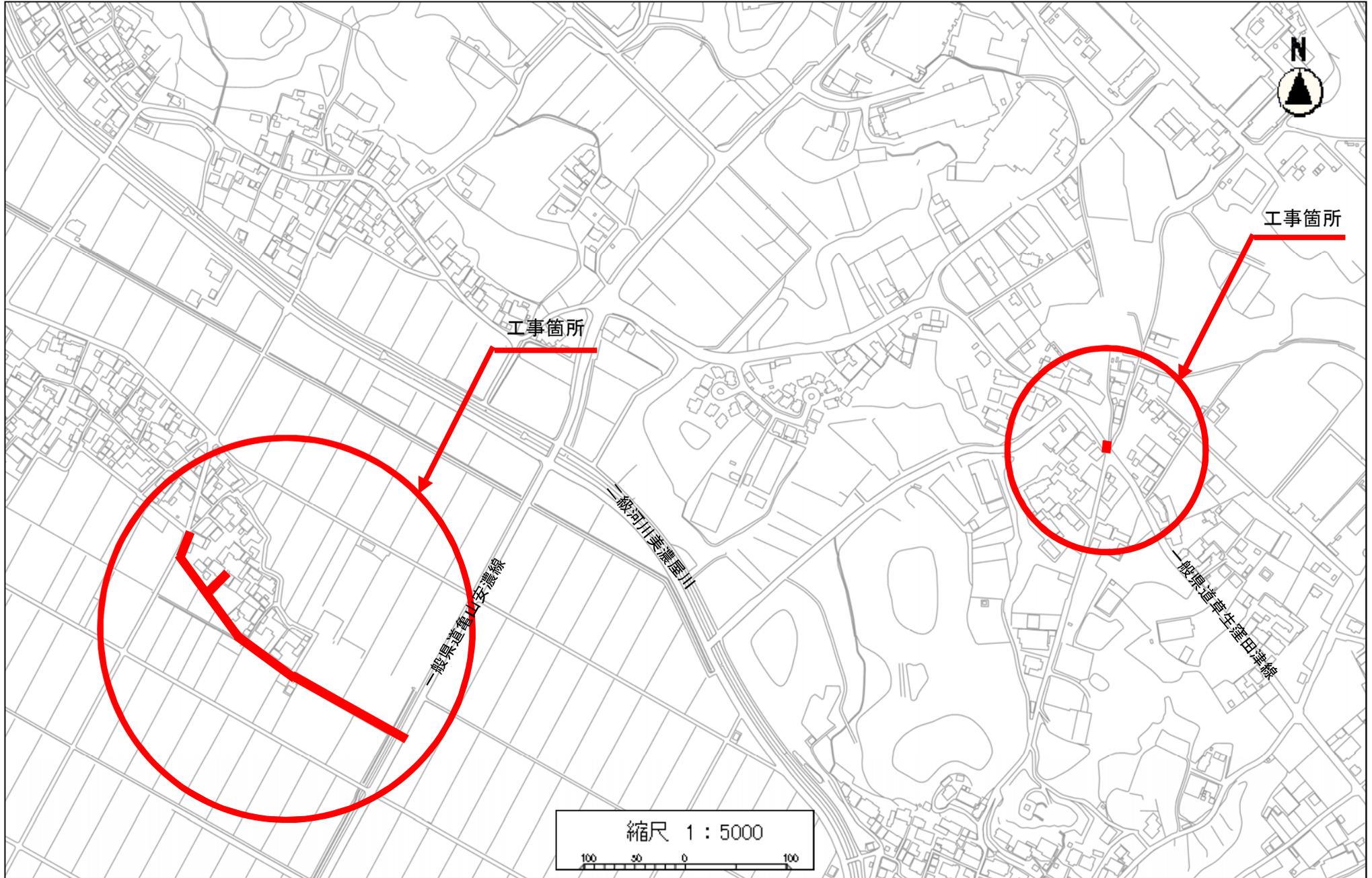
工事仕様は特記以外は三重県公共工事共通仕様書
及び工事監督員の指示による。

津 市
上下水道事業局下水道工務課

令和6年度	下工公補	第11号	工 事 設 計 書		
施工場所	津市安濃町安濃及び安濃町内多地内			担当参事(兼)課長	
				検算者	
工事名	安濃処理分区公共下水道工事			調整担当主幹	
				担当主幹	
設計額	(うち消費税等相当額)			担当副主幹	
				設計者	
工期	令和7年3月10日限り				
長	-	巾	-		
工 事 の 大 要					
管布設工(管径150mm)	329	m	ます設置工	4	箇所
管推進工(管径150mm)	16	m			
組立マンホール工	6	箇所			
小型マンホール工	6	箇所			

位置図

令和6年度下工公補第11号
安濃処理分区公共下水道工事



工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管路(補助)		式		1			
管きょ工(開削)(リブ管150mm)		式		1			
管路土工		式		1			
管路掘削		m ³		590			
管路埋戻	RC-40	m ³		430			
発生土処理		m ³		590			
管布設工		式		1			
リブ付硬質塩化ビニル管	φ150	m		298			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		298			
継手類		式		1			
管基礎工		式		1			
碎石基礎(RC-40)		m ³		90			
管路土留工		式		1			
軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下	m		298			
軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下	m		298			
軽量鋼矢板建込	掘削深3.0m以下	m		7			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	工事名	当初	事業区分	下水道
							令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事		工事区分	管路(補助)
軽量鋼矢板引抜	掘削深3.0m以下	m		7						
軽量鋼矢板賃料	H=2.5m	式		1						
軽量鋼矢板賃料	H=3.0m	式		1						
土留支保(軽量金属支保)設置	2段	m		305						
土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	m		305						
支保材賃料(腹起し)		式		1						
支保材賃料(水圧式ハイトサポ-ト)		式		1						
支保材賃料(水圧ボ-ン)		式		1						

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
開削水替工		式		1			
ポンプ運転		日		0.8			
据付・撤去		現場		1			
管きょ工(小口径推進, 塩ビスパイラルφ150mm, 圧入二工程方式)		式		1			
低耐荷力圧入二工程推進工		式		1			
推進用硬質塩化ビニル管(低耐荷力圧入二工程)	φ150	m		16			
発生土処理		m ³		0.3			
立坑内管布設工		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
				工事区分		管路(補助)	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
硬質塩化ビニル管	φ150	m		0.6			
継手類		式		1			
仮設備工(小口径)		式		1			
坑口(小口径)	発進立坑	箇所		1			
坑口(小口径)	到達人孔	箇所		1			
鏡切り		箇所		1			
推進設備等設置撤去		箇所		1			
地盤改良工		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
補助地盤改良工		式		1			
薬液注入工	M87-1(坑口上流)	本		5			
薬液注入工	既設M38-1(坑口下流)	本		6			
注入設備据付・解体		現場		1			
立坑工(発進立坑) M87-1		式		1			
立坑土工		式		1			
掘削		m3		20			
埋戻	RC-40	m3		10			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分				管路(補助)	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
基礎碎石	RC-40 t=15cm	m ²		4			
基礎コンクリート	18-8-40(BB)	m ³		0.8			
発生土処理		m ³		20			
立坑土留工		式		1			
軽量鋼矢板建込	掘削深3.5m以下	m		4			
軽量鋼矢板引抜	掘削深3.5m以下	m		4			
軽量鋼矢板		式		1			
軽量鋼矢板賃料	H=3.5m	式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
土留支保(軽量金属支保)設置	2段	m		4			
土留支保(軽量金属支保)撤去	2段	m		4			
支保材質料(水圧式四面梁腹起し)		式		1			
支保材質料(水圧ホヅ)		式		1			
覆工板・覆工板受枠設置		式		1			
覆工板・覆工板受枠撤去		式		1			
覆工板開閉工		回		10			
覆工板・覆工板受枠賃料等		式		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事						
マンホール工		式		1		
組立マンホール工		式		1		
組立1号マンホール		式		1		
小型マンホール工		式		1		
小型マンホール		式		1		
取付管およびます工		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削		m3		4		

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管路掘削		m3		1			
管路埋戻	RC-40	m3		2			
管路埋戻	流用土	m3		0.8			
発生土処理		m3		4			
発生土処理		m3		0.4			
ます設置工		式		1			
ます(塩ビ製)	φ200	箇所		2			
取付管布設工		式		1			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	工事名	当初	事業区分	下水道
							令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事		工事区分	管路(補助)
取付管(塩ビ管)	φ100	箇所		2						
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		6						
付帯工		式		1						
舗装版破碎工(本復旧)		式		1						
舗装版切断	As版	m		75						
舗装版破碎	As版	m ²		1,620						
殻運搬	As殻	m ³		83						
殻処分	As殻	m ³		83						

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
掘削		m3		2			
土砂等運搬		m3		2			
舗装版破碎工(本管・取付管)		式		1			
舗装版切断	As版	m		620			
舗装版破碎	As版	m2		312			
殻運搬	As殻	m3		16			
殻処分	As殻	m3		16			
掘削		m3		0.3			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
土砂等運搬		m3		0.3			
舗装版破碎工(立坑)		式		1			
舗装版切断	As版	m		14			
舗装版破碎	As版	m2		16			
殻運搬	As殻	m3		0.7			
殻処分	As殻	m3		0.7			
舗装復旧準備工(本復旧)		式		1			
不陸整正	補足材RC-40 平均t=1cm	m2		1,410			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
不陸整正	補足材RM-30 平均t=1cm	m ²		202			
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1			
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20) t=5cm	m ²		202			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=5cm	m ²		1,410			
表層(車道・路肩部)	密粒度As(20)改質II型 t=5cm	m ²		202			
舗装目地復旧工		m		54			
舗装仮復旧工(本管・取付管)		式		1			
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=22cm	m ²		273			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=14cm	m2		5			
上層路盤(歩道部)	RM-30 t=15cm	m2		9			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=3cm	m2		303			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=5cm	m2		9			
舗装仮復旧工(立坑)		式		1			
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=22cm	m2		12			
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=3cm	m2		16			
区画線工		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(補助)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
溶融式区画線	実線 W=15cm 白色	m		43			
溶融式区画線	破線 W=15cm 白色	m		10			
溶融式区画線	ゼブラ W=30cm 白色	m		5			
溶融式区画線	矢印記号文字 W=15cm換算 白色	m		66			
溶融式区画線	矢印記号文字 W=15cm換算 黄色	m		4			
仮設工		式		1			
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員	(B)	人日		148			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分		共通仮設費			
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
仮設材等運搬費		式		1			
仮設材等積込み取卸し		式		1			
事業損失防止施設費		式		1			
家屋調査		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
地下水観測費		式		1			
技術管理費		式		1			
本管TV調査		m		315			
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
				工事区分		共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
スクラップ評価額		式		1			
工事価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
工事費計		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(単独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
管路(単独)		式		1			
管きょ工(開削)(リブ管150mm)		式		1			
管路土工		式		1			
管路掘削		m ³		30			
管路埋戻	RC-40	m ³		20			
発生土処理		m ³		30			
管布設工		式		1			
リブ付硬質塩化ビニル管	φ150	m		31			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(単独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		31			
継手類		式		1			
管基礎工		式		1			
碎石基礎(RC-40)		m ³		8			
管路土留工		式		1			
軽量鋼矢板賃料	H=2.5m	式		1			
軽量鋼矢板賃料	H=3.0m	式		1			
支保材賃料(腹起し)		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(単独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
支保材賃料(水圧式パイプサポート)		式		1			
支保材賃料(水圧ポンプ)		式		1			
マンホール工		式		1			
組立マンホール工		式		1			
組立1号マンホール		式		1			
内副管	飛散防止板	式		1			
小型マンホール工		式		1			
小型マンホール		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(単独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
取付管およびます工		式		1			
管路土工		式		1			
管路掘削		m3		0.9			
管路掘削		m3		1			
管路埋戻	RC-40	m3		0.4			
管路埋戻	流用土	m3		0.8			
発生土処理		m3		0.9			
発生土処理		m3		0.4			

工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事						
ます設置工		式		1		
ます(塩ビ製)	φ200	箇所		2		
取付管布設工		式		1		
取付管(塩ビ管)	φ100	箇所		2		
埋設標識テープ	W=150 2倍	m		2		
付帯工		式		1		
舗装版破碎工(本復旧)		式		1		
舗装版破碎	As版	m ²		58		

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
		工事区分	管路(单独)				
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
殻運搬	As殻	m3		2			
殻処分	As殻	m3		2			
舗装版破碎工(本管・取付管)		式		1			
舗装版切断	As版	m		66			
舗装版破碎	As版	m2		26			
殻運搬	As殻	m3		1			
殻処分	As殻	m3		1			
舗装復旧準備工(本復旧)		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第1号 安濃処理分区公共下水道工事			当初		事業区分	下水道
							工事区分	管路(単独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要		
不陸整正	補足材RC-40 平均t=1cm	m ²		58				
アスファルト舗装復旧工(本復旧)		式		1				
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=5cm	m ²		58				
舗装仮復旧工(本管・取付管)		式		1				
下層路盤(歩道部)	RC-40 t=22cm	m ²		26				
表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=3cm	m ²		26				
道路付属物設置撤去工		式		1				
道路鋲設置撤去		個		4				

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	管路(单独)
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
仮設工		式		1			
交通管理工		式		1			
交通誘導警備員	(B)	人日		16			
直接工事費		式		1			
共通仮設		式		1			
共通仮設費		式		1			
運搬費		式		1			
仮設材等運搬費		式		1			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
						工事区分	共通仮設費
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
仮設材等積込み取卸し		式		1			
事業損失防止施設費		式		1			
試掘調査		箇所		5			
試掘調査	立坑M87-1	箇所		1			
家屋調査		式		1			
技術管理費		式		1			
土質等試験費		式		1			
本管TV調査		m		31			

工事数量総括表

	工事名	令和6年度下工公補第11号 安濃処理分区公共下水道工事			当初	事業区分	下水道
				工事区分		共通仮設費	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要	
共通仮設費（率計上）		式		1			
純工事費		式		1			
現場管理費		式		1			
工事原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
工事費計		式		1			

令和6年度下工公補第11号

安濃処理分区公共下水道工事

数量総括表

(補助対象工事)

レベル1 : 管路

レベル1 : 共通仮設

レベル1 : スクラップ評価額

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量
管きよ工(開削)リブ管150mm)	管路土工	管路掘削	機械 BH0.28 V= 585.40	管路土工数量計算表より	= 585.40	m3	585.4
		管路埋戻	機械 BH0.28 V= 432.28	管路土工数量計算表より	= 432.28	m3	432.3
		発生土処理	4t積 V= 585.40	管路土工数量計算表より	= 585.40	m3	585.4
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管	φ 150mm L= 298.40	管布設工数量計算表より	= 298.40	m	298.4
		埋設標識テープ	W=150 2倍 L= 298.40	管布設工数量計算表より	= 298.40	m	298.4
		継手類	管布設工数量計算表より N= 1.00	= 1.00	式	1.0	
	管基礎工	碎石基礎(RC-40)	機械 V= 89.92	管路土工数量計算表より	= 89.92	m3	89.9
	管路土留工						

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		軽量鋼矢板建込	掘削深2.5m以下 L= 298.60 - 1.00 管路土留工数量計算表より (発進立坑分) = 297.60	m	297.6
		軽量鋼矢板引抜	掘削深2.5m以下 L= 298.60 - 1.00 管路土留工数量計算表より (発進立坑分) = 297.60	m	297.6
		軽量鋼矢板建込	掘削深3.0m以下 L= 7.00 管路土留工数量計算表より = 7.00	m	7.0
		軽量鋼矢板引抜	掘削深3.0m以下 L= 7.00 管路土留工数量計算表より = 7.00	m	7.0
		軽量鋼矢板賃料	H=2.5m N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	2段 L= 305.60 - 1.00 管路土留工数量計算表より (発進立坑分) = 304.60	m	304.6
		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段 L= 305.60 - 1.00 管路土留工数量計算表より (発進立坑分) = 304.60	m	304.6
		支保材賃料(腹起し)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式ハイサポート)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	開削水替工	支保材質料(水圧ポンプ)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		ポンプ運転	管布設工数量計算表より N= 0.79 = 0.79	日	0.8
		据付・撤去	N= 1.00 = 1.00	現場	1.0
管きょ工(小口径推進、塩ビスパイラルφ150mm、圧入二工程方式)					
	立坑内管布設工	低耐荷力圧入二工程推進工			
		推進用硬質塩化ビニル管 (低耐荷力圧入二工程)	スパイラル継手付直管φ150 低耐荷力圧入二工程式数量計算書より L= 15.60 = 15.60	m	15.6
		発生土処理	汚泥吸排車 低耐荷力圧入二工程式数量計算書より V= 0.30 = 0.30	m ³	0.3
		硬質塩化ビニル管	スパイラル継手直管φ150 低耐荷力圧入二工程式数量計算書より L= 0.60 = 0.60	m	0.6
	仮設備工(小口径)	継手類	低耐荷力圧入二工程式数量計算書より N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		坑口(小口径)	発進立坑 低耐荷力圧入二工程式数量計算書より N= 1.00 = 1.00	箇所	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量		
地盤改良工	補助地盤改良工	坑口(小口径)	到達人孔 N= 1.00	低耐荷力圧入二工程式数量計算書より = 1.00	箇所	1.0	
		鏡切り		低耐荷力圧入二工程式数量計算書より N= 1.00	= 1.00	箇所	1.0
		推進設備等設置撤去		低耐荷力圧入二工程式数量計算書より N= 1.00	= 1.00	箇所	1.0
		薬液注入工		二重管ストレーナ複相式 薬液注入工数量計算書より M87-1(坑口上流) N= 5.00	= 5.00	本	5.0
		薬液注入工		二重管ストレーナ複相式 薬液注入工数量計算書より 既設M38-1(坑口下流) N= 6.00	= 6.00	本	6.0
		注入設備据付・解体		N= 1.00	= 1.00	現場	1.0
立坑工(発進立坑)	M87-1 立坑土工						

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		掘削	立坑分 $V = 2.00 \times 2.00 \times (3.414 - 0.03) = 13.54$ 覆工板分(設置時) $V = 1.00 \times 0.67 \times 3.160 \times 2.00 + 2.00 \times 0.58 \times 0.220 \times 2.00 = 4.74$ 覆工板分(撤去時) $V = \{ 0.50 \times (0.57 + 0.35) - 0.15 \} \times 0.35 \times 3.16 \times 2.00 = 2.58$ $\Sigma V = 20.86$	m3	20.9
		埋戻	RC-40 立坑分 $V = 2.00 \times 2.00 \times 2.814 = 11.26$ (控除①:塩ビ管・砂基礎分、控除②:人孔分) ① $V = 0.365 \times 2.00 \times 0.475 = -0.35$ ② $V = \pi/4 \times 1.10^2 \times 0.305 = -0.29$ $V = \pi/4 \times 1.05^2 \times 2.100 = -1.82$ $V = \pi/4 \times (0.84^2 + 1.05^2) / 2.00 \times 0.41 = -0.29$ 覆工板分(設置時) $V = \{ 0.50 \times (0.67 + 0.45) - 0.25 \} \times 0.35 \times 3.16 \times 2.00 = 2.99$ 覆工板分(撤去時) $V = 1.00 \times 0.35 \times 3.160 \times 2.00 = 2.21$ $\Sigma V = 13.71$	m3	13.7

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	立坑土留工	基礎砕石	RC-40 A= 2.00 × 2.00 = 4.00	m2	4.0
		基礎コンクリート	18-8-40(BB) 立坑分 V= 2.00 × 2.00 × 0.20 = 0.80	m3	0.8
		発生土処理	V= 20.86 = 20.86	m3	20.9
		軽量鋼矢板建込	掘削深3.5m以下 L= 2.00 + 2.00 = 4.00	m	4.0
		軽量鋼矢板引抜	掘削深3.5m以下 L= 2.00 + 2.00 - 0.333 × 2.00 / 2.00 = 3.67	m	3.7
		軽量鋼矢板	単位数計算書参照 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.5m N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		土留支保(軽量金属支保)設置	2段 L= 2.00 + 2.00 = 4.00	m	4.0
		土留支保(軽量金属支保)撤去	2段 L= 2.00 + 2.00 = 4.00	m	4.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
マンホール工	組立マンホール工	支保材賃料(水圧式四面梁腹起し)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ポンプ)	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		覆工板・覆工板受枠設置	覆工板: 3000×3000 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		覆工板・覆工板受枠撤去	覆工板: 3000×3000 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		覆工板開閉工	N= 10.00 = 10.00	回	10.0
		覆工板・覆工板受枠賃料等	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
	小型マンホール工	組立1号マンホール	組立1号人孔材料表及び1号マンホール底部工数量計算表より N= 1.00 = 1.00	式	1.0
取付管およびます工	管路土工	小型マンホール	塩ビ製 塩ビ製小口径マンホール材料計算表より N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		管路掘削	機械 BH0.28 汚水枳設置及び取付管工数量計算表より V= 3.67 = 3.67	m3	3.7

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
付帯工	まず設置工 取付管布設工	管路掘削	人力 V= 1.26	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 1.26	m3	1.3
		管路埋戻	機械 BH0.28 V= 2.03	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 2.03	m3	2.0
		管路埋戻	人力 流用土 V= 0.82	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 0.82	m3	0.8
		発生土処理	4t積 V= 3.67	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 3.67	m3	3.7
		発生土処理	2t積 V= 1.26	- 0.82 / 0.90 = 0.35	m3	0.4
		まず(塩ビ製)	φ 200 N= 2.00	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 2.00	箇所	2.0
		取付管(塩ビ管)	φ 100 N= 2.00	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 2.00	箇所	2.0
		埋設標識テープ	W=150 2倍 L= 5.45	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 5.45	m	5.5
	舗装版破碎工(本復旧)					

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装版切断	As版 市道 $L = 4.20 + 5.75 + 3.00 + 4.50 + 3.80 = 21.25$ 県道 $L = 7.00 + 7.00 + 14.00 + 4.80 + 6.30 + 14.70 = 53.80$ $\Sigma L = 75.05$	m	75.1
		舗装版破碎	As版 市道 $A = 1413.80 = 1413.80$ 県道 $A = 202.40 = 202.40$ $\Sigma A = 1616.20$	m2	1,616.2
		殻運搬	As殻 本管仮復旧、取付管復旧 $V = 299.95 \times 0.03 + 5.65 \times 0.05 + 3.19 \times 0.03 = 9.38$ 14路線 上層-下層路盤継ぎ目部、水道仮復旧 $V = (2.83 + 28.00) \times 0.05 = 1.54$ 14路線水道仮復旧分 A=28.0m2より 本復旧 $V = (1,413.80 - 299.95 - 3.19) \times 0.05 + (202.40 - 5.65 - 2.83 - 28.00) \times 0.10 = 72.13$ $\Sigma V = 83.05$	m3	83.1

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻処分	As殻 V= 83.05 = 83.05	m3	83.1
		掘削	土砂 県道 14路線 下水、水道施工分 V= (5.65 × 1.50 + 28.00) × 0.05 = 1.82	m3	1.8
		土砂等運搬	V= 1.82 = 1.82	m3	1.8
	舗装版破碎工(本管・取付管)	舗装版切断	As版 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 L= 611.20 + 9.10 = 620.30 14路線 上層-下層路盤継ぎ目部 L= 0.25 × 4.00 = 1.00 Σ L = 621.30	m	621.3
		舗装版破碎	As版 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 A= 305.60 + 3.19 = 308.79 14路線 上層-下層路盤継ぎ目部 A= 0.50 × 5.65 = 2.83 Σ A = 311.62	m2	311.6

数 量 計 算 書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻運搬	As殻 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 $V = 15.56 + 0.16 = 15.72$ 14路線 上層-下層路盤継ぎ目部 $V = 2.83 \times 0.10 = 0.28$ $\Sigma V = 16.00$	m3	16.0
		殻処分	As殻 $V = 16.00 = 16.00$	m3	16.0
		掘削	14路線 上層-下層路盤継ぎ目部 $V = 0.60 \times 5.65 \times 0.10 = 0.34$	m3	0.3
		土砂等運搬	$V = 0.34 = 0.34$	m3	0.3
	舗装版破碎工(立坑)	舗装版切断	As版 $L = (4.00 + 3.16) \times 2.00 = 14.32$	m	14.3
		舗装版破碎	As版 立坑設置時 $A = 4.00 \times 3.16 = 12.64$ 立坑撤去時 $A = 4.00 \times 3.16 - 3.00 \times 3.00 = 3.64$ $\Sigma A = 16.28$	m2	16.3

数 量 計 算 書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		殻運搬	As殻 立坑設置時 $V = (4.00 \times 3.16 - 2.00 \times 2.00) \times 0.05 + 2.00 \times 2.00 \times 0.03 = 0.55$ 立坑撤去時 $A = (4.00 \times 3.16 - 3.00 \times 3.00) \times 0.03 = 0.11$ $\Sigma V = 0.66$	m3	0.7
		殻処分	As殻 $V = 0.66 = 0.66$	m3	0.7
	舗装復旧準備工(本復旧)	不陸整正	補足材(RC-40) 平均t=1cm 舗装工面積計算書より 市道 $A = 1413.80 = 1413.80$	m2	1,413.8
		不陸整正	補足材(RM-30) 平均t=1cm 舗装工面積計算書より 県道 $A = 202.40 = 202.40$	m2	202.4
	アスファルト舗装復旧工(本復旧)	基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20) t=5cm 県道 舗装工面積計算書より $A = 202.40 = 202.40$	m2	202.4
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=5cm 市道 舗装工面積計算書より $A = 1,413.80 = 1,413.80$	m2	1,413.8

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		表層(車道・路肩部)	密粒度As(20)改質Ⅱ型 t=5cm 県道 舗装工面積計算書より A= 202.40 = 202.40	m2	202.4
		舗装目地復旧工	目地材t=4cm 県道 L= 7.00 + 7.00 + 14.00 + 4.80 + 6.30 + 14.70 = 53.80	m	53.8
	舗装仮復旧工(本管・取付管)	下層路盤(歩道部)	再生碎石RC-40 t=22cm 市道 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 A= 269.99 + 3.19 = 273.18	m2	273.2
		下層路盤(歩道部)	再生碎石RC-40 t=14cm 県道 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 A= 5.09 = 5.09	m2	5.1
		上層路盤(歩道部)	再生粒度調整碎石RM-30 t=15cm 県道 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 14路線 上層-下層路盤継ぎ目部 A= 5.09 + 0.60 × 5.65 = 8.48	m2	8.5
		表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=3 cm 市道 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 A= 299.95 + 3.19 = 303.14	m2	303.1

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	舗装仮復旧工(立坑)	表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=5cm 県道 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 14路線 上層-下層路盤継ぎ目部 A= 5.65 + 0.50 × 5.65 = 8.48	m2	8.5
		下層路盤(歩道部)	再生砕石RC-40 t=22cm 立坑撤去時 A= 4.00 × 3.16 - 0.60 × 0.60 × π/4 = 12.36	m2	12.4
	区画線工	表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=3cm 立坑設置時 A= 4.00 × 3.16 - 3.00 × 3.00 = 3.64 立坑撤去時 A= 4.00 × 3.16 - 0.60 × 0.60 × π/4 = 12.36 Σ A = 16.00	m2	16.0
		溶融式区画線	実線 W=15cm 白色 外側線 県道 L= 14.00 + 3.00 + 3.90 + 8.50 + 1.00 + 9.80 = 43.20	m	43.2
		溶融式区画線	破線 W=15cm 白色 中央線 県道 L= 5.00 × 2.00 = 10.00	m	10.0

数 量 計 算 書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工	交通管理工	溶融式区画線	ゼブラ W=30cm 白色 停止線 市道 L= 2.00 + 3.00 = 5.00	m	5.0
		溶融式区画線	矢印記号文字 W=15cm換算 白色 市道・県道 クロスマーク(T) L= 5.70 × 5.00 = 28.50 止まれ L= 18.60 × 2.00 = 37.20 Σ L = 65.70	m	65.7
		溶融式区画線	矢印記号文字 W=15cm換算 黄色 市道 消火栓 L= 3.60 × 1.00 = 3.60	m	3.6
		交通誘導警備員	交通誘導警備員B N= 148.20 = 148.20	人日	148.2
		仮設材等運搬費	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
共通仮設費	運搬費	仮設材等積込み取卸し	軽量鋼矢板 W= 1.704 + 2.045 + 1.093 = 4.842 覆工板・覆工板受枠 W= = 2.683 Σ W = 7.525 (t)	式	1.0
		事業損失防止施設費	N= 1.00 (W= 7.525 t) = 1.00	式	1.0

数量計算書

補助対象工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
スクラップ評価額	技術管理費	家屋調査	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		地下水観測費	観測井算定書参照 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		本管TV調査	内径800mm未満 管布設工数量計算表より L= 298.40 + 15.55 + 0.55 = 314.50	m	314.5
			単位数量計算書参照 N= 1.00 = 1.00	式	1.0

管路土工数量計算表 (本管リブφ150mm用)

No. 1

路線 番号	下流側 (上段) 上流側 (下段)									区 間 距 離	現 況 厚	復旧 厚		掘 削 幅	下 流 側 埋 戻 高 掘 削 深	上 流 側 埋 戻 高 掘 削 深	平 均 埋 戻 高 掘 削 深	掘 削 (上段:素掘 下段:矢板)									
	マンホール 番号	マンホール 種 別	地盤高 m	流出高 m	流出 管径 mm	人孔深 m	流入高 m	流入 管径 mm	落差 cm			表層	基層					上層路盤 cm	下層路盤 cm	機 械				人 力 m ³			
																				埋 戻 高	埋 戻 高	埋 戻 高	深 さ		BH0.13 m ³	BH0.28 m ³	BH0.45 m ³
87	M87-1	1号 MH	24.040	21.451	150	2.589	21.730	150	27.9			3		0.90	2.16	2.05	2.105										
	M87-2	1号 MH	24.080	21.885	150	2.195				51.50	5		22		2.41	2.30	2.355	2.305		106.84							
87	M87-2	1号 MH	24.080	21.885	150	2.195	21.905	150	2.0			3			2.03	1.99	2.010										
	M87-3	1号 MH	24.210	22.072	150	2.138				55.65	5		22		2.28	2.24	2.260	2.210		110.69							
85	M87-3	1号 MH	24.210	22.072	150	2.138	22.092	150	2.0			3			1.97	1.75	1.860										
	M85-1	塩ビ MH	24.100	22.201	150	1.899				36.25	5		22		2.22	2.00	2.110	2.060		67.21							
85	M85-1	塩ビ MH	24.100	22.201	150	1.899	22.201	150	0.0			3			1.75	1.76	1.755										
	M85-2	1号 MH	24.160	22.253	150	1.907				17.45	5		22		2.00	2.01	2.005	1.955		30.70							
85	M85-2	1号 MH	24.160	22.253	150	1.907	22.273	150	2.0			3			1.74	1.83	1.785										
	M85-3	塩ビ MH	24.310	22.334	150	1.976				20.40	5		22		1.99	2.08	2.035	1.985		36.44							
85	M85-3	塩ビ MH	24.310	22.334	150	1.976	22.334	150	0.0			3			1.83	1.88	1.855										
	M85-4	塩ビ MH	24.420	22.394	150	2.026				20.05	5		22		2.08	2.13	2.105	2.055		37.08							
85	M85-4	塩ビ MH	24.420	22.394	150	2.026	22.394	150	0.0			3			1.88	1.89	1.885										
	M85-5	1号 MH	24.490	22.450	150	2.040				18.65	5		22		2.13	2.14	2.135	2.085		35.00							
83	M85-5	1号 MH	24.490	22.450	150	2.040	22.470	150	2.0			3			1.87	1.87	1.870										
	M83-1	塩ビ MH	24.640	22.622	150	2.018				50.60	5		22		2.12	2.12	2.120	2.070		94.27							
83	M83-1	塩ビ MH	24.640	22.622	150	2.018	22.622	150	0.0			3			1.87	1.81	1.840										
	M83-2	1号 MH	24.650	22.697	150	1.953				25.05	5		22		2.12	2.06	2.090	2.040		45.99							
86	M87-3	1号 MH	24.210	22.072	150	2.138	22.172	150	10.0			3			1.89	1.88	1.885										
	M87-3+3.00	プラス点	24.210	22.181	150					3.00	5		22		2.14	2.13	2.135	2.085		5.63							
14	M15-3	既設 1号 MH	36.170	33.639	150	2.531	33.685	150	4.6			5	15		2.25	2.20	2.225										
	M15-3+5.65	プラス点	36.140	33.702	150					5.65	10		14		2.59	2.54	2.565	2.465		12.53							
14	M15-3+5.65	プラス点	36.140	33.702	150		33.702	150	0.0			3			2.29	2.28	2.285										
	M14-1	既設 塩ビ MH	36.130	33.706	150	2.424				1.35	5		22		2.54	2.53	2.535	2.485		3.02							
計										305.60									0.00	0.00	0.00	0.00					
素掘・矢板計																			0.00	585.40	0.00	0.00					

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	掘 削 幅	埋戻し（上段：素掘 下段：矢板）											
	上流側（下段）			管基礎（碎石基礎（RC-40））						埋戻土（RC-40）					
	マンホール番号			機 械			人 力			機 械			人 力		
				マンホール減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	深さ	BH0.13
		m	m	m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m ³	m ³	m ³	m ³
87	M87-1	51.50	0.90	0.450											
	M87-2			0.450	50.60	0.356			15.25			1.749		81.07	
87	M87-2	55.65	0.90	0.450											
	M87-3			0.450	54.75	0.356			16.50			1.654		82.84	
85	M87-3	36.25	0.90	0.450											
	M85-1			0.200	35.60	0.356			10.73			1.504		49.07	
85	M85-1	17.45	0.90	0.200											
	M85-2			0.450	16.80	0.356			5.06			1.399		21.97	
85	M85-2	20.40	0.90	0.450											
	M85-3			0.200	19.75	0.356			5.95			1.429		26.24	
85	M85-3	20.05	0.90	0.200											
	M85-4			0.200	19.65	0.356			5.92			1.499		27.05	
85	M85-4	18.65	0.90	0.200											
	M85-5			0.450	18.00	0.356			5.42			1.529		25.66	
83	M85-5	50.60	0.90	0.450											
	M83-1			0.200	49.95	0.356			15.05			1.514		68.95	
83	M83-1	25.05	0.90	0.200											
	M83-2			0.450	24.40	0.356			7.35			1.484		33.46	
86		3.00	0.90												
	M87-3			0.450											
	M87-3+3.00			0.000	2.55	0.356			0.77				1.529		4.13
14	M15-3	5.65	0.90	0.450											
	M15-3+5.65			0.000	5.20	0.356			1.57			1.869		9.50	
14	M15-3+5.65	1.35	0.90	0.000											
	M14-1			0.200	1.15	0.356			0.35				1.929		2.34
計		305.60							0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
素堀・矢板計									0.00	89.92	0.00	0.00	0.00	432.28	0.00

管路土工数量計算表 (本管リブ φ 150mm用)

No. 3

路線 番号	下流側 (上段) 上流側 (下段) マンホール番号	区 間 距 離	舗装切断				舗 装 幅	舗装版取壊						仮復旧														
			As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層					
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40														
			m	m	m	m		m	m	m	m ²	m ²	m ³	m ²	m ²	m ³	m ²											
87	M87-1 M87-2	51.50	103.00				1.00	51.50		2.58				46.35												51.50		
87	M87-2 M87-3	55.65	111.30				1.00	55.65		2.78				50.09												55.65		
85	M87-3 M85-1	36.25	72.50				1.00	36.25		1.81				32.63												36.25		
85	M85-1 M85-2	17.45	34.90				1.00	17.45		0.87				15.71												17.45		
85	M85-2 M85-3	20.40	40.80				1.00	20.40		1.02				18.36												20.40		
85	M85-3 M85-4	20.05	40.10				1.00	20.05		1.00				18.05												20.05		
85	M85-4 M85-5	18.65	37.30				1.00	18.65		0.93				16.79												18.65		
83	M85-5 M83-1	50.60	101.20				1.00	50.60		2.53				45.54												50.60		
83	M83-1 M83-2	25.05	50.10				1.00	25.05		1.25				22.55												25.05		
86	M87-3 M87-3+3.00	3.00	6.00				1.00	3.00		0.15				2.70												3.00		
14	M15-3 M15-3+5.65	5.65	11.30				1.00	5.65		0.57				5.09		5.09										5.65		
14	M15-3+5.65 M14-1	1.35	2.70				1.00	1.35		0.07				1.22												1.35		
計		305.60	611.20	0.00	0.00	0.00		305.60	0.00	15.56	0.00	0.00	0.00	269.99	5.09	0.00	5.09	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	299.95	5.65	0.00	

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番号	マンホール 種別	平均 掘削深	人孔間 距離	マンホール 控除長	管体 延長	内径 150 mm PRP				
							マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バンドタイプ	貼付タイプ			
			m	m	m	m	個	個			
87	M87-1	1号 MH	2.355	51.50	0.90	50.60	1				
	M87-2	1号 MH					1				
87	M87-2	1号 MH	2.260	55.65	0.90	54.75	1				
	M87-3	1号 MH					1				
85	M87-3	1号 MH	2.110	36.25	0.65	35.60	1				
	M85-1	塩ビ MH									
85	M85-1	塩ビ MH	2.005	17.45	0.65	16.80	1				
	M85-2	1号 MH					1				
85	M85-2	1号 MH	2.035	20.40	0.65	19.75	1				
	M85-3	塩ビ MH									
85	M85-3	塩ビ MH	2.105	20.05	0.40	19.65					
	M85-4	塩ビ MH									
85	M85-4	塩ビ MH	2.135	18.65	0.65	18.00	1				
	M85-5	1号 MH					1				
83	M85-5	1号 MH	2.120	50.60	0.65	49.95	1				
	M83-1	塩ビ MH									
83	M83-1	塩ビ MH	2.090	25.05	0.65	24.40	1				
	M83-2	1号 MH									
86	M87-3	1号 MH	2.135	3.00	0.45	2.55	1				
	M87-3+3.00	プラス点									
14	M15-3	既設 1号 MH	2.565	5.65	0.45	5.20		1			
	M15-3+5.65	プラス点								0.65	
14	M15-3+5.65	プラス点	2.535	1.35	0.20	1.15					
	M14-1	既設 塩ビ MH								0.14	
計				305.60	7.20	298.40	11	1	0.79		

低耐荷力圧入二工程式 数量計算書

φ 150

工 種	仕 様	単 位	数 量			備 考
推進スパン		スパン	1			
路線延長		m	17.00			
管体延長		m	16.10			
推進延長		m	15.55			
空伏延長		m	0.55			
低耐荷力圧入二工程推進工						
推進用硬質塩化ビニル管 (低耐荷力圧入二工程)						
推進用硬質塩化ビニル管	スパイラル継手直管 φ 150 1.00m/本	本	17.0			
誘導管推進工		m	15.6			
硬質塩化ビニル管推進工		m	15.6			
スクレーコンベヤ類撤去工		m	15.6			
発生土処理						
汚泥吸排車運搬		m3	0.3			
立坑内管布設工						
硬質塩化ビニル管						
硬質塩化ビニル管布設工	スパイラル継手直管 φ 150 1.00m/本	m	0.6			
継手類						
小口径推進用マンホール可とう継手	継手ゴム拡張固定型 (既設人孔用) φ 150 塩ビ管用	個	1.0			
マンホール用可とう継手	拡張バンドタイプ φ 150 塩ビ管用	個	1.0			

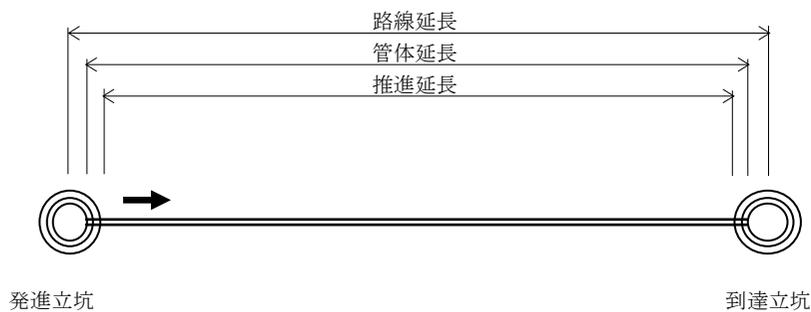
低耐荷力圧入二工式 数量計算書

φ 150

工 種	仕 様	単 位	数 量			備 考
仮設備工(小口径)						
坑口(小口径)	発進立坑用	箇所	1.0			
坑口(小口径)	到達人孔用	箇所	1.0			
鏡切り						
鏡切り工	発進立坑 1.0m/箇所	箇所	1.0			
推進設備等設置撤去						
推進設備工		箇所	1.0			

低耐荷力圧入方式二工程式推進工法(VPφ150)

路線 番号	人孔No.	管径	平均 土被り	路線 延長	立坑 減長	推進 延長	人孔 減長	管体 延長	空伏 延長	布設 延長	管材料		仮 設 備 工				発生土 運搬工	スクューコ ンバヤ類 撤去工			備 考	
											硬質塩化ビニル管 φ150	スパイラル継手付直管 L=1.0m	推進設備		坑口工							鏡切工 1.0 m/箇所
													設 置 撤去工	据換工	発 進 坑口工	到 達 坑口工						
No.	No.	mm	m	m	m	m	m	m	m	m	本	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m3	m				
87	M87-1 → 既設M38-1	150	2.39	17.00	1.45	15.55	0.90	16.10	0.55	16.10	17	1		1	1	1	0.33	15.55				
合 計																						



基本諸元

推進管 (推進用硬質塩化ビニル管 φ150)
 管外径 = φ165.0 mm
 管内径 = φ150.0 mm
 推進管有効長 = 1.00 m

計算式

残土処分工 = $\pi/4 \times 0.165^2 \times$ 推進延長

管 材 スパイラル継手付直管

薬液注入工数量計算書

1本当たり

	単位	土質・区分	発進立坑 M87-1 坑口上流	到達人孔 既設M38-1 坑口下流			
T_s : 1本当り施工時間 $T_s = T_1 + T_2 + T_3 + T_4$	min						
T_1 : 機械準備時間	min						
T_2 : 削孔時間 $T_2 = \sum (\gamma_1 \times l_0)$	min	粘性土 砂質土 礫質土 計					
γ_1 : 各土質毎の削孔の 単位作業時間	min	粘性土 砂質土 礫質土 計					
l_0 : 各土質毎の削孔長	m	粘性土 砂質土 礫質土 計	1.700 1.896 3.596	1.700 1.807 3.507			
T_3 : 注入時間 $T_3 = Q_s / q_s$	min						
q_s : 単位時間当り注入量	リットル/min						
T_4 : 土被り引抜時間 $T_4 = \gamma_2 \times l_2$	min						
γ_2 : 土被り引抜の単位作業時間	min/m						
l_2 : 土被り長	m						
Q_s : 1本当り注入量 $Q_s = (V \times \lambda \times 1000) / n$	リットル/本	粘性土 砂質土 礫質土 計					
V : 対象注入土量 $V = a \times h$	m ³	粘性土 砂質土 礫質土 計	7.361 1.715 9.076	8.558 1.545 10.103			
h : 1本当り注入高	m	粘性土 砂質土 礫質土 計	1.700 0.396 2.096	1.700 0.307 2.007			
B_1 : 注入幅(たて)	m		2.000	2.525			
B_2 : 注入幅(よこ)	m		2.165	2.165			
B_3 : 控除面積	m ²			0.433			
λ : 注入率	%	粘性土 砂質土 礫質土 計					
a : 注入面積	m ²		4.330	5.034			
n : 注入本数	本		5	6			
N : 2セット 1日当り施工本数 $N = 60 \times H \times 2 / T_s$	本/日						
H : 注入設備の1日当り実作業時間	時間						
粘性土・砂質土・レキ質土 比率 = 瞬結 : 中結							
溶液型無機瞬結タイプ	リットル		239.906	223.456			
溶液型無機中結タイプ	リットル		479.814	446.914			
合 計			719.72	670.37			

1 号マンホール底部工数量計算表

No. 1

総マンホール数		6 箇所		平均管内径		150 mm	
モルタル上塗り厚さ t =		2 cm		単位数量		合計数量	
名称	規格	形態		箇所数	数量		
無収縮モルタル	1 : 2		m/袋 0.040	m 0.332	袋 8.300	袋 8.300	
砕石基礎	砕石基礎 RC-40	施工厚 20 cm	0.209	6	1.254	m ³ 1.30	
インバート コンクリート		—○				上塗り量	
	モルタル上塗り量		0.675				
	コンクリート量		0.138				
		—○—				m ²	
	モルタル上塗り量		0.713	3	2.139		
	コンクリート量		0.133	3	0.399	4.40	
		—○— 				コンクリ ート量	
	モルタル上塗り量		0.752	3	2.256		
コンクリート量		0.128	3	0.384			
	—○— 				m ³		
モルタル上塗り量		0.790					
コンクリート量		0.123			0.80		
M87-1 調整コンクリート	18-8-40(BB)	施工厚 175mm	m ³ 0.152	1	0.152	m ³ 0.20	
M87-1 調整コンクリート型枠			m ² 0.577	1	0.577	m ² 0.58	

塩ビ製小口径マンホール材料計算表（本管φ150mm用）

No. 1

人孔 番号	計画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			マンホール蓋 (台座付)及び 沈下防止板 φ300		インバート					自在 継手 15°	落差 インバート用 支管	下水 キャップ φ150
		管底高	管種 管径		管径	管底高	落差	T-25 組	T-14 組	スト レート 起点	スト レート 中間	曲点	合流	落差			
										KT 個	ST 個	L 個	個	個			
m	m	mm	m	mm	m	cm								個	個	個	
85路線より M85-1	24.100	22.201	PRP 150	1.899	150	22.201	0	1					1			1	
85路線より M85-3	24.310	22.334	PRP 150	1.976	150	22.334	0	1					1			1	
85路線より M85-4	24.420	22.394	PRP 150	2.026	150	22.394	0	1					1			1	
83路線より M83-1	24.640	22.622	PRP 150	2.018	150	22.622	0	1					1			1	
計									4					4		4	

汚水柵設置及び取付管工数量計算表

No. 1

路線 番号	下流側（上段）	箇所数	取付管径 mm	現況	仮復旧		掘削 幅 m	本管土被り		平均 掘削深 m	道路	宅内	埋設標識 シート	掘削（上段：素掘 下段：矢板）								
	上流側（下段）			厚	厚	下流側		平均	掘削延長 本管～官民界		掘削延長 官民界～柵	道路部土工延長 (上段：本管掘削幅) 道路部延長 -本管掘削幅1/2		深さ	機 械			人 力				
	マンホール番号			表層	上層路盤									表層	基層	下層路盤	道路部					
				箇所数	cm	cm		cm	cm		m			m	m	m	m	m	m	m ³	m ³	m ³
① 85	M85-2	1	100	5	3	22	0.70	1.730	1.775	1.200	1.75		1.00	1.30	1.75	1.150	1.05	0.900			0.63	
	M85-3			5	3	22		1.820				1.775				1.200						1.75
② 83	M85-5	1	100	5	3	22	0.70	1.870	1.870	1.200	3.70	1.00	3.25	3.70	1.150	2.62	0.900			0.63		
	M83-1			5	3	22		1.870							1.870						1.200	3.70
計		2											5.45		0.00	3.67	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26	
素掘・矢板計													5.45		0.00	3.67	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26	

汚水柵設置及び取付管工数量計算表

No. 2

路線 番号	下流側 (上段)	掘 削 幅	埋戻し (上段:素掘 下段:矢板)										
	上流側 (下段)		砂基礎					埋戻土(RC-40)					流用土
	マンホール番号		深さ	機械			人力		深さ (道路部)	機械			人力
				BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45	道路部	宅内		BH0. 13	BH0. 28	BH0. 45	
		m	m	m ³	m	m ³	m ³	m ³	m ³				
85	M85-2	0.70	0.314		0.27			0.21			0.58		0.41
	M85-3							0.636					
83	M85-5	0.70	0.314		0.68			0.21			1.45		0.41
	M83-1							0.636					
計				0.00	0.95	0.00		0.42		0.00	2.03	0.00	0.82
				0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00
				0.00	0.95	0.00		0.42		0.00	2.03	0.00	0.82

汚水柵設置及び取付管工数量計算表

No. 3

路線 番号	下流側（上段）	道路掘削延長 m	舗装切断				舗装幅 m	舗装版取壊						仮復旧													
	上流側（下段）		As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層				
	マンホール番号		t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40 t=22cm	再生砕石RC-40 t=14cm		再生砕石調整層RC-30 t=15cm							再生密度As(13) t=3cm	再生密度As(13) t=5cm		
			m	m	m	m		m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m	m
85	M85-2 M85-3	1.30	2.60					0.70	0.91	0.05				0.91											0.91		
83	M85-5 M83-1	3.25	6.50					0.70	2.28	0.11				2.28											2.28		
		4.55	9.10	0.00	0.00	0.00			3.19	0.00	0.16	0.00	0.00	0.00	3.19	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.19	0.00	0.00

舗装工面積計算書

No. 1 / 2

市道

測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	備考
自: No. 0 至: No. 1	20.00	4.70	89.0	87, 85, 83 (一部) 路線
		4.20		
自: No. 1 至: No. 2	20.00	4.20	84.0	"
		4.20		
自: No. 2 至: No. 3	20.00	4.20	84.0	"
		4.20		
自: No. 3 至: No. 4	20.00	4.20	89.0	"
		4.70		
自: No. 4 至: No. 5	20.00	4.70	98.0	"
		5.10		
自: No. 5 至: No. 6	20.00	5.10	97.0	"
		4.60		
自: No. 6 至: No. 7	20.00	4.60	92.0	"
		4.60		
自: No. 7 至: No. 8	20.00	4.60	89.0	"
		4.30		
自: No. 8 至: No. 9	20.00	4.30	98.0	"
		5.50		
自: No. 9 至: No. 10	20.00	4.70	89.0	"
		4.20		
自: No. 10 至: No. 11	20.00	4.20	85.0	"
		4.30		
自: No. 11 至: No. 12	20.00	4.30	87.0	"
		4.40		
自: No. 12 至: No. 13	20.00	4.40	92.0	"
		4.80		
自: No. 13 至: No. 13 + 16.50	16.50	4.80	84.2	"
		5.40		
自: No. 13 + 16.50 至: No. 13 + 18.70	2.20	5.40	16.3	"
		9.40		
小計	278.70		1,273.5	

市道 (83 (一部)、14 路線)

測点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	備考
自: No. 0 至: No. 0 + 9.10	9.10	3.00	39.1	83 (一部) 路線
		5.60		
自: No. 0 + 9.10 至: No. 1	10.90	5.60	56.1	"
		4.70		
自: No. 1 至: No. 1 + 8.00	8.00	4.70	36.8	"
		4.50		
自: 至:				
自: No. 0 至: No. 0 + 2.00	2.00	4.45	8.3	14 路線
		3.80		
自: 至:				
小計	30.00		140.3	
合計	308.70		1,413.8	

舗装工面積計算書

No. 2 / 2

県道 (87路線)

測 点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m ²)	備 考
自: No. 0	7.00	14.00	98.0	
至: No. 0 + 7.00		14.00		
自: No. 0 + 7.00	1.80	8.70	13.1	
至: No. 0 + 8.80		5.80		
自: No. 0 + 8.80	1.85	5.80	9.1	
至: No. 0 + 10.65		4.00		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	10.65		120.2	

県道 (14路線)

測 点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (m ²)	備 考
自: No. 0	3.30	4.80	14.8	
至: No. 0 + 3.30		4.15		
自: No. 0 + 3.30	1.80	4.15	7.7	
至: No. 0 + 5.10		4.45		
自: No. 0 + 5.10	0.80	4.45	3.7	
至: No. 0 + 5.90		4.75		
自: No. 0 + 5.90	1.30	4.75	6.9	
至: No. 0 + 7.20		5.85		
自: No. 0 + 7.20	0.60	5.85	3.6	
至: No. 0 + 7.80		6.25		
自: No. 0 + 7.80	0.60	6.25	3.9	
至: No. 0 + 8.40		6.90		
自: No. 0 + 8.40	6.30	6.90	41.6	
至: No. 0 + 14.70		6.30		
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	14.70		82.2	
合 計	25.35		202.4	

単 位 数 量 計 算 書

細別	軽量鋼矢板	1.0式	細別	覆工板・覆工板受枠設置	1.0式		
規格		当り	規格	3000×3000	当り		
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
軽量鋼矢板	$N = 1.00 = 1.00$ <p>【撤去部分】 L1=2.090m ≦ スクラップ 長2.50m $W = 2.090 \text{ (m)} \times 0.0142 \text{ (t/m)} \times 2 \text{ (枚)}$ $= 0.059 \text{ t}$ $\therefore 0.059 \times 0.80 \times =$</p> <p>【残置部分】 L2=1.410m ≦ スクラップ 長2.50m $W = 1.410 \text{ (m)} \times 0.0142 \text{ (t/m)} \times 2 \text{ (枚)}$ $- (0.165 + 0.05)^2 \times \pi / 4 \times (0.0142 / 0.333)$ $= 0.038 \text{ t}$ $\therefore 0.038 \times 0.90 \times =$ $\therefore \Sigma = 19,129 \text{ (円)}$</p>	式	1.0	覆工板・覆工板受枠設置	$3000 \times 1000 \times 200 \text{ N}=3\text{枚}$ $A = 3.00 \times 3.00 = 9.00$ <p>(参考) 受枠 : $W = 3.16 \times 2 \times 0.072 \text{ (t/m)} = 0.455 \text{ (t)}$ ずれ止め : $W = (3.16 \times 2 + 3.00 \times 2) \times 0.025 \text{ (t/m)}$ $= 0.308 \text{ (t)}$ $\therefore 0.308 \times = 37,268$</p>	m2	9.0
鋼材切断	軽量鋼矢板 $L = 0.333 \times 2 = 0.67$	m	0.7	コンクリート	18-8-40(BB) $V = 0.35 \times 0.15 \times 3.16 \times 2.00 = 0.33$	m3	0.3
現場発生品運搬	軽量鋼矢板 撤去部分 $W = 0.059 = 0.059$	t	0.06	型枠	$A = 0.15 \times 2.00 \times 3.16 \times 2.00 = 1.90$	m2	1.9
				基礎碎石	RC-40 t=10cm $A = 0.35 \times 2.00 \times 3.16 = 2.21$	m2	2.2
				基面整正	$A = 0.35 \times 2.00 \times 3.16 = 2.21$	m2	2.2

単 位 数 量 計 算 書

細別	覆工板・覆工板受枠撤去		1.0式	細別	家屋調査		1.0式
規格	3000×3000		当り	規格			当り
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
覆工板・覆工板受枠撤去	$3000 \times 1000 \times 200 \quad N=3\text{枚}$ $A= 3.00 \times 3.00 = 9.00$	m2	9.0	工作物 (事前調査)	100m2未満 1.00	箇所	1.0
コンクリート構造物 取壊し運搬処分	無筋Co $V= 0.35 \times 0.15 \times 3.16 \times 2.00$ $= 0.33$	m3	0.3	木造建物C (事前調査)	70m2未満 1.00	棟	1.0
				諸経費等・その他原価・一般管理費等	1.00	式	1.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	スクラップ評価額	1.0式	細別				
規格	φ16-H1	当り	規格				
名称	算式	単位	数量	名称	算式	単位	数量
スクラップ評価額	$N = 1.00 = 1.00$ 鏡切 $W = \frac{(0.165 + 0.05)^2 \times \pi / 4 \times (0.0142)}{0.333} = 0.002 \text{ t}$ 撤去鋼矢板 $W = 2.090 \times 0.0142 \times 2 = 0.059 \text{ t}$ <hr/> $\Sigma W = 0.061 \text{ t}$ $0.061 \times = 2,562 \text{ 円}$	式	1.0				

【観測井戸算定書】

掘進深（改良深+1.0m） 1本当り深さ

番号	1	2	3	4	5	6		
対象立坑	発進立坑	到達立坑						合計
	M87-1	M38-1						
土質		(既設立坑)						
シルト・粘土	0.00 + 0.00	0.00 + 0.00						0.00
	0.00	0.00						
砂質土	1.70 + 0.00	1.70 + 0.00						3.40
	1.70	1.70						
礫質土	1.90 + 1.00	1.81 + 1.00						5.71
	2.90	2.81						
玉石混り土	0.00 + 0.00	0.00 + 0.00						0.00
	0.00	0.00						
計	4.60	4.51						9.11
合計	2箇所計上	1箇所計上						

M87-1と既設38-1はマンホール間が短いため、上記のとおり全部で3本設置することとする。

設置位置は、立坑より10m以内とする。

令和6年度下工公補第11号
安濃処理分区公共下水道工事

数量総括表
(市単独工事)

レベル : 管路

レベル : 共通仮設

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量		
管きよ工(開削)(リブ管150mm) 管路土工	管路土工	管路掘削	機械 BH0.13 V= 32.21	管路土工数量計算表より	=	32.21	m3	32.2	
		管路埋戻	機械 BH0.13 V= 18.05	管路土工数量計算表より	=	18.05	m3	18.1	
		発生土処理	2t積 V= 32.21	管路土工数量計算表より	=	32.21	m3	32.2	
	管布設工	リブ付硬質塩化ビニル管		φ 150mm L= 30.80	管布設工数量計算表より	=	30.80	m	30.8
			埋設標識テープ	W=150 2倍 L= 30.80	管布設工数量計算表より	=	30.80	m	30.8
			継手類	管布設工数量計算表より N= 1.00		=	1.00	式	1.0
		管基礎工	砕石基礎(RC-40)	機械 V= 8.19	管路土工数量計算表より	=	8.19	m3	8.2
	管路土留工								

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量
マンホール工	組立マンホール工	軽量鋼矢板賃料	H=2.5m N= 1.00	整備費のみ	= 1.00	式	1.0
		軽量鋼矢板賃料	H=3.0m N= 1.00	整備費のみ	= 1.00	式	1.0
		支保材賃料(腹起し)	N= 1.00	整備費のみ	= 1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧式ハイブサポート)	N= 1.00	整備費のみ	= 1.00	式	1.0
		支保材賃料(水圧ポンプ)	N= 1.00	整備費のみ	= 1.00	式	1.0
	小型マンホール工	組立1号マンホール	組立1号人孔材料表より N= 1.00	=	1.00	式	1.0
		内副管	飛散防止板 N= 1.00	=	1.00	式	1.0
		小型マンホール	塩ビ製 N= 1.00	塩ビ製小口径マンホール材料計算表より	= 1.00	式	1.0
取付管およびます工	管路土工						

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)			単位	数量
		管路掘削	機械 BH0.13 V= 0.86	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	0.86	m3	0.9
		管路掘削	人力 V= 1.26	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	1.26	m3	1.3
		管路埋戻	機械 BH0.13 V= 0.43	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	0.43	m3	0.4
		管路埋戻	人力 V= 0.82	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	0.82	m3	0.8
		発生土処理	2t積 V= 0.86	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	0.86	m3	0.9
		発生土処理	2t積 V= 1.26	- 0.82 / 0.90 =	0.35	m3	0.4
	ます設置工	ます(塩ビ製)	φ 200 N= 2.00	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	2.00	箇所	2.0
	取付管布設工	取付管(塩ビ管)	φ 100 N= 2.00	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より =	2.00	箇所	2.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量	
付帯工	舗装版破碎工(本復旧)	埋設標識テープ	W=150 2倍 L= 2.00	汚水柵設置及び取付管工数量計算表より = 2.00	m	2.0
		舗装版破碎	As版 市道 A= 58.10	舗装工面積計算書より = 58.10	m2	58.1
		殻運搬	As殻 本管仮復旧 V= 25.48 × 0.03 取付管仮復旧 V= 0.84 × 0.03 本復旧 V= (58.10 - 25.48 - 0.84) × 0.05 = 1.59 Σ V = 2.38		m3	2.4
		殻処分	As殻 V= 2.38		m3	2.4
		舗装版破碎工(本管・取付管)	舗装版切断	As版 本管 L= 63.70 取付管 L= 2.40	管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より + 2.40 = 66.10	m

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
		舗装版破碎	As版 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 A= 25.48 + 0.84 = 26.32	m2	26.3
		殻運搬	As殻 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 V= 1.27 + 0.04 = 1.31	m3	1.3
		殻処分	As殻 V= 1.31 = 1.31	m3	1.3
	舗装復旧準備工(本復旧)	不陸整正	補足材(RC-40) 平均t=1cm 舗装工面積計算書より A= 58.10 = 58.10	m2	58.1
	アスファルト舗装復旧工(本復旧)	表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=5cm 舗装工面積計算書より A= 58.10 = 58.10	m2	58.1
	舗装仮復旧工(本管・取付管)	下層路盤(歩道部)	再生碎石RC-40 t=22cm 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 A= 25.48 + 0.84 = 26.32	m2	26.3

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
仮設工	道路付属物設置撤去工	表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(13) t=3 cm 管路土工数量計算表及び汚水柵設置及び取付管工数量計算表より 本管 取付管 A= 25.48 + 0.84 = 26.32	m2	26.3
		道路鉋設置撤去	貼付タイ ^φ 既設再利用 N= 4.00 = 4.00	個	4.0
共通仮設費	交通管理工	交通誘導警備員	交通誘導警備員B N= 16.00 = 16.00	人日	16.0
		仮設材等運搬費	N= 1.00 (2班体制分) 軽量鋼矢板 W= 1.704 + 1.789 = 3.493 t	式	1.0
	事業損失防止施設費	仮設材等積込み取卸し	N= 1.00 (W= 3.493 t) = 1.00	式	1.0
		試掘調査	N= 5.00 単位数量計算書参照 = 5.00	箇所	5.0
		試掘調査	立坑M87-1 単位数量計算書参照 N= 1.00 = 1.00	箇所	1.0

数量計算書

市単独工事

レベル2 (工種)	レベル3 (種別)	レベル4 (細別)	レベル5 (規格及び数量)	単位	数量
	技術管理費	家屋調査	N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		土質等試験	コーン指数調査 1試料 N= 1.00 = 1.00	式	1.0
		本管TV調査	内径800mm未満 管布設工数量計算表より L= 30.80 = 30.80	m	30.8

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

No. 2

路線 番号	下流側（上段）	区 間 距 離	掘 削 幅	埋戻し（上段：素掘 下段：矢板）												
	上流側（下段）			管基礎（碎石基礎（RC-40））						埋戻土（RC-40）						
	マンホール番号			機 械			人 力			機 械			人 力			
				マンホール減長	基礎延長	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	深さ	BH0.13	BH0.28	BH0.45	深さ	BH0.13	BH0.28
		m	m	m	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m ³	m ³	m ³	m ³	
84	M85-5	14.00	0.80	0.450			3.55						8.00			
	M84-1			0.200	13.35	0.356					0.714					
84	M84-1	17.85	0.80	0.200			4.64						10.05			
	M84-2			0.200	17.45	0.356					0.704					
計		31.85					8.19	0.00	0.00	0.00		18.05	0.00	0.00	0.00	0.00
素掘・矢板計							8.19	0.00	0.00	0.00		18.05	0.00	0.00	0.00	0.00

管路土工数量計算表（本管リブφ150mm用）

No. 3

路線 番号	下流側（上段） 上流側（下段） マンホール番号	区 間 距 離 m	舗装切断				舗 装 幅 m	舗装版取壊						仮復旧														
			As		Co			As			Co			下層路盤			上層路盤			基層			表層					
			t=15cm 以下	t=15cm 超	t=15cm 以下	t=15cm 超		t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	t=15cm 以下	t=15cm 超	処分	再生砕石RC-40											再生密粒度As(13)			
			m	m	m	m		m	m	m	m ²	m ²	m ³	m ²	m ²	m ³	m ²											
84	M85-5 M84-1	14.00	28.00				0.80	11.20		0.56				11.20														
84	M84-1 M84-2	17.85	35.70				0.80	14.28		0.71				14.28														
計		31.85	63.70	0.00	0.00	0.00		25.48	0.00	1.27	0.00	0.00	0.00	25.48	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	25.48	0.00	0.00	

管布設工数量計算表

内径 150 mm PRP No. 1

路線 番号	マンホール 番 号	マンホール 種 別	平均 掘削深	人孔間 距 離	マンホール 控除長	管体 延長	マンホール可とう継手		水替工	外副管工	内副管工
							拡張バンドタイプ	貼付タイプ			
							個	個			
		下流側	m	m	m	m			日	箇所	箇所
		上流側									
84	M85-5	1号 MH					1				
	M84-1	塩ビ MH	1.320	14.00	0.65	13.35					1
84	M84-1	塩ビ MH									
	M84-2	塩ビ MH	1.310	17.85	0.40	17.45					
計				31.85	1.05	30.80	1				1

塩ビ製小口径マンホール材料計算表（本管φ150mm用）

No. 1

人孔 番号	計画 地盤高	流出管		人孔深	流入管			マンホール蓋 (台座付)及び 沈下防止板 φ300		インバート					自在継手 15° 個	落差 インバート用 支管 個	下水 キャップ φ150 個	
		管底高	管種 管径		管径	管底高	落差	T-25 組	T-14 組	スト レート 起点 KT 個	スト レート 中間 ST 個	曲点 L 個	合流 個	落差 立管一体型 個				
																		m
84路線より M84-1	24.470	23.282	PRP 150	1.188	150	23.282	0	1					1			1		
84路線より M84-2	24.560	23.336	PRP 150	1.224	150	23.336	0	1					1					
86路線より M87-3+3.00																		管止め 1
計								2					2			1		1

内副管工総括表 (本管 φ 150mm用)

1.0 式

工 種	細 目	計算式	数 量	単 位
内副管工(1)	M85-5	TA200 点検孔付 =	0.790	1.000 個
		TB200 流入高 流出高 TA200(D) TA200(E) 流入管径/2 流出管径 TB200(D)-50 = {(23.240 - 22.450) - (0.550 - 0.200 - 0.150 / 2 + 0.150)} / 0.500 = 0.730	0.730	1.000 個
内副管工(2)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(3)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(4)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(5)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(6)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(7)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(8)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(9)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
内副管工(10)		直管延長 = (流入高 - 流出高) - 流入管肉厚 - 副管用90°支管 - 流出高+2cm - 90°曲管長 - 支管径/2 落差		直管延長
	路線より	布設延長 = 副管用90°支管 + 直管延長 + 90°曲管長 × 2		布設延長
		= (+ +) ×		m
バップル	TA200	点検孔付	1.000	個
〃	TB200		1.000	個
直管布設延長	φ 100	+ + + + + + + + + =	L=	m
副管用90°支管	φ 100			個
カラー	φ 100	+ + + + + + + + =		個
副管固定金具	φ 100用	+ + + + + + + + =		個
90°曲管	φ 100			個
フレンド直管	φ 100	+ + + + + + + + =		m
下水キャップ	φ 100			個

汚水枺設置及び取付管工数量計算表

No. 1

路線 番号	下流側（上段）	箇所数	取付管径	現況 厚	仮復旧 厚		掘 削 幅	本管土被り		平均 掘削深	道路	宅内	埋設標識 シート	掘 削（上段:素掘 下段:矢板）							
	上流側（下段）				深さ	機 械			人 力												
	マンホール番号					道路部															
						宅内		BH0.13	BH0.28		BH0.45	道路部		宅内							
		箇所数	mm	cm	cm	cm	m	m	m	m	m	m	m	m	m ³						
③、④ 84	M84-1	2	100	5	3		0.70	1.040	1.055	1.078	1.00	1.00	2.00	0.80	1.028	0.86					1.26
	M84-2					22		1.070						0.60							
計		2											2.00		0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26
素堀・矢板計													2.00		0.86	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.26

汚水柵設置及び取付管工数量計算表

No. 2

路線 番号	下流側 (上段)	掘 削 幅	埋戻し (上段:素掘 下段:矢板)											
	上流側 (下段)		砂基礎						埋戻土(RC-40)				流用土	
	マンホール番号		深さ	機械			人力		深さ (道路部)	機械			人力	
				BH0.13	BH0.28	BH0.45	道路部	宅内		BH0.13	BH0.28	BH0.45	人力	
	m	m	m ³	m ³	m ³	m ³	m ³	m	m ³					
84	M84-1	0.70	0.314	0.25				0.42		0.43				0.82
	M84-2							0.514						
計				0.25	0.00	0.00		0.42		0.43	0.00	0.00	0.00	0.82
				0.00	0.00	0.00		0.00		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
				0.25	0.00	0.00		0.42		0.43	0.00	0.00	0.00	0.82

舗装工面積計算書

No. 1 / 1

市道

測 点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	備 考
自: No. 0 至: No. 1	20.00	1.85 2.00	38.5	84路線
自: No. 1 至: No. 1 + 9.80	9.80	2.00 2.00	19.6	"
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計	29.80		58.1	

測 点	距離 (m)	幅 (m)	面積 (㎡)	備 考
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
自:				
至:				
小 計				
合 計	29.80		58.1	

単位数計算書

細別	試掘調査				1.0箇所	細別	試掘調査				1.0箇所		
規格					当たり	規格	立坑M38-1				当たり		
名称	算式				単位	数量	名称	算式				単位	数量
舗装版切断	$(1.00 + 1.00) \times 2 = 4.00$				m	4.0	舗装版切断	$(2.00 + 2.00) \times 2 = 8.00$				m	8.0
舗装版破碎	$1.00 \times 1.00 = 1.00$				m ²	1.0	舗装版破碎	$2.00 \times 2.00 = 4.00$				m ²	4.0
殻運搬	$1.00 \times 0.05 = 0.05$				m ³	0.1	殻運搬	$4.00 \times 0.05 = 0.20$				m ³	0.2
殻処分	0.05				m ³	0.1	殻処分	0.20				m ³	0.2
掘削(機械)	$1.00 \times 1.00 \times 0.85 = 0.85$				m ³	0.9	掘削(機械)	$2.00 \times 2.00 \times 1.15 = 4.60$				m ³	4.6
掘削(人力)	$1.00 \times 1.00 \times 0.30 = 0.30$				m ³	0.3	掘削(人力)	$2.00 \times 2.00 \times 0.30 = 1.20$				m ³	1.2
埋戻	$1.00 \times 1.00 \times 1.17 = 1.17$				m ³	1.2	埋戻	$2.00 \times 2.00 \times 1.47 = 5.88$				m ³	5.9
RC-40	流用土 $(0.85 + 0.30) \times 0.90 = 1.04$						RC-40	流用土 $(4.60 + 1.20) \times 0.90 = 5.22$					
	$(1.17 - 1.04) \times 1.20 = 0.16$				m ³	0.2		$(5.88 - 5.22) \times 1.20 = 0.79$				m ³	0.8
表層	再生密粒度As(13) t=3cm $1.00 \times 1.00 = 1.00$				m ²	1.0	表層	再生密粒度As(13) t=3cm $2.00 \times 2.00 = 4.00$				m ²	4.0

単 位 数 量 計 算 書

細別	家屋調査			1.0式	細別				
規格				当たり	規格				
名称	算式			単位	数量	名称	算式		
木造建物C (事前調査)	70m2未満	1.00	棟	1.0					
諸経費等・そ の他原価・一 般管理費等		1.00	式	1.0					

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
仕 様 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 共通の仕様	<input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）は、三重県公共工事共通仕様書に優先する。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月版）を適用 <input checked="" type="checkbox"/> 本市が制定する要綱及び規則等に準拠するとともに監督員の指示により執行すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストを活用し、津市工事請負契約約款、設計図書及び三重県公共工事共通仕様書等に基づき、施工・手続き等が適切に実施されていることを常に監督員と共有し、確認すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン(平成31年3月)（一部改正：令和2年4月）を参考とする。 <input type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案）編」を適用
	<input type="checkbox"/> 公園工事の仕様	<input type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事共通仕様書（令和6年5月）に準ずること。 <input type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）及び三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に定められた事項以外の工事仕様は、国土交通省都市局 公園緑地工事施工管理基準（令和6年5月）に準ずること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
工 程 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名：令和6年度水工第23号 公共下水道事業に伴う安濃町内多地内配水管移設工事）	<input checked="" type="checkbox"/> 調整項目（ <input checked="" type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整 <input checked="" type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input checked="" type="checkbox"/> その他（当該工事の一部は、水道工事完了後現場に着手すること。） <input type="checkbox"/> 別途協議
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	<input type="checkbox"/> 制限する工程名（ ） 施工時期及び施工時間（ ） 施工方法（ ）
	<input type="checkbox"/> 工期	<input checked="" type="checkbox"/> 工程（全工程）について、施工日の即日開放を原則とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 工程（区画線工）について、事前に（津警察署）と立会を行い、確認後、施工すること。 <input type="checkbox"/> 工期は、繰越手続きが完了後、（ 年 日）までに変更します。
	<input type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了	<input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり	<input checked="" type="checkbox"/> 占用物件名（ <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ））
	<input checked="" type="checkbox"/> 支障物件の移設	<input checked="" type="checkbox"/> 施工に支障となり、ゴミ置場等の移設が必要な場合は、施工前に関係機関、所有者、関係自治会等と調整を図ること。また、移設場所及び移設時期を所有者、関係自治会等へ事前に回覧等を配布するなど周知の徹底を図ること。なお、調整結果を監督員に報告すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物等の損害	<input checked="" type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等上空施設の調査結果を監督員に報告すること。また、地下埋設物件等に損害を与えた場合は、直ちに関係機関に通報及び監督員に連絡し、応急措置を取り補修するとともに、周辺住民に対して適切な処置を講ずること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 官公庁への手続き等	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の使用許可申請及び消防長への道路工事の届出等を行うこと。また、諸手続きにおいて、許可、承諾を得たときは、その書面の写しを監督員に提出すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 通学路確認	<input checked="" type="checkbox"/> 工事箇所を通学区域とする学校に確認し、通学路であった場合は、対象の学校と協議し、工程の調整を図り、通学者の安全を確保すること。また、学校との協議結果を監督員に報告すること。
	<input type="checkbox"/> 部分使用	<input type="checkbox"/> 部分使用箇所（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用時期（ ） <input type="checkbox"/> 部分使用目的（ ）
<input type="checkbox"/> 部分引渡し	<input type="checkbox"/> 部分引渡し指定部分（ ） <input type="checkbox"/> 部分引渡し時期（ ）	
<input checked="" type="checkbox"/> その他（ 施工体制 ）	<input checked="" type="checkbox"/> その他（ 複数班体制にて施工を行い、工期内完成に努めること。 ）	

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
用地関係	<input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり	<input type="checkbox"/> 未処理箇所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ～No. <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 完了見込み時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議）
	<input type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> 仮設ヤード（ <input type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間（ ） <input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離（L = km） <input type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
公害対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> 制限項目（ <input type="checkbox"/> 騒音 <input type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 施工方法等（ <input type="checkbox"/> 指定工法名（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 施工時期（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり	<input checked="" type="checkbox"/> 調査項目（ <input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input checked="" type="checkbox"/> 近接家屋の事前調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事後調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定 <input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 試掘調査 ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 調査方法（ <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 家屋調査は、主任技術者（監理技術者）の管理のもと、三重県業務委託共通仕様書に基づき調査を実施すること。また、調査に従事する者（補助者を除く）は、調査対象物件に応じた建築士法第2条に規定する建築士の資格を有する者を充てること。なお、身分証明書交付願を速やかに監督員に提出し、身分証明書交付後に家屋調査を実施すること。
	<input type="checkbox"/> 地下水位低下工	<input type="checkbox"/> ウェルポイントは、近隣家屋の事前調査完了後に着手すること。また、工事現場周辺の井戸調査を行い、井戸が残存する場合は、井戸の水位の変化に細心の注意を払うこと。なお、近隣家屋の事前箇所及び井戸調査範囲は、監督員と協議すること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限	<input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり ・近接公共施設（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ）） ・近接施設（ <input type="checkbox"/> 擁壁（ ） <input checked="" type="checkbox"/> ブロック塀 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> その他（ ）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 <input type="checkbox"/> 工法制限あり ・制限を受ける工種（ ） ・制限内容（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保（自主施工の原則）	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事故速報の提出	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 掘削（床掘り）	<input checked="" type="checkbox"/> 図面に表記した掘削及び床掘りラインは、数量算出に用いたものであり、掘削の深さ、掘削を行っている期間、土質条件、地下水の状況及び周辺地域の環境条件等を総合的に勘案し、安全かつ確実に施工すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 作業後の現場確認	<input checked="" type="checkbox"/> 工事中は、路面に段差や小構造物等突起物がないよう仮舗装等で十分なすり付けを行い、毎日の作業終了後工事現場内を十分に調べ、危険な箇所は即日補修を行うものとする。
	<input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	<input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置人員数 <input checked="" type="checkbox"/> 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 人 B： 164 人 （注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> 積上げによる算出 配置人員数（人）（うち交通誘導警備員A（人）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間（別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間（別途協議） <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種（別途協議）
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期安全研修・訓練等	<input checked="" type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等は、工事着手後、作業員全員（交通誘導警備員含む）の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施すること。また、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。なお、安全教育及び安全訓練等の実施状況を記録した資料及び写真を整備及び保管し、監督員及び検査員に提示すること。 (1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 (2) 当該工事内容等の周知徹底 (3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 (4) 当該工事における災害対策訓練 (5) 当該工事現場で予想される事故対策 (6) その他、安全・訓練等として必要な事項 <input checked="" type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等は、以下に示す項目の具体的な計画を作成し施工計画書へ記載すること。 (1) 工事期間中の月別安全研修・訓練等実施全体計画 (2) 全体計画には、下記項目の活動内容について具体的に記述する。 1) 月当たり半日以上時間を割り当てた安全研修・訓練等の実施内容・工程に合わせた適時の安全項目 2) 資機材搬入者等一時入場者への工事現場内誘導方法 3) 現場内の業務内容及び工程の作業員等への周知方法 4) KY及び新規入場者教育の方法 5) 場内整理整頓の実施 6) その他安全に関する取組み
	<input checked="" type="checkbox"/> 安全巡視等	<input checked="" type="checkbox"/> 安全巡視者を定め、安全巡視者はその所在を明らかにするとともに、施工計画書の内容、工事現場の状況、施工条件及び作業内容を熟知し、適時、作業員等の指導及び安全施設や仮設備の点検を行い、工事現場及びその周辺の安全確保に努めること。また、安全巡視、KY活動、TBM等の実施状況を記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議94適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
安全対策関係	<input checked="" type="checkbox"/> 災害防止協議会（安全衛生協議会）の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 下請け契約を締結する場合には、下請負人の工事施工・安全管理の責任者等を含め、災害防止協議会を設置し、作業間の連絡調整を図り、災害防止に努めること。また、協議会の開催は毎月1回以上とする。なお、実施状況を記録した資料（実施状況写真があることが望ましい）を保管し、監督員及び検査員に提示すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場者教育	<input checked="" type="checkbox"/> 新規入場者教育等（交通誘導警備員を含む）は、本工事の現場特性を反映した内容で実施すること。また、実施状況がわかる記録した資料を整備、保管し、監督員及び検査員に提示すること。
建設発生土・産業廃棄物関係	<input type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり	<input type="checkbox"/> 受入地の条件（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離（L＝ km） <input type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定	<input checked="" type="checkbox"/> 受入地未定につき別途協議する。（ <input checked="" type="checkbox"/> 暫定運搬距離L＝ 8 km、 <input checked="" type="checkbox"/> その他（建設発生土について、三重県建設副産物処理基準の第7条第3項のとおり処理するものとし、公有地となった場合は津市河芸町上野建設発生土処分場とする。））
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ <input type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別添図書 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】 <input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 再生資源利用計画	<input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 再生資源利用促進計画	<input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物税	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物処理	<input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理を委託する場合には、廃棄物処理法に規定する委託基準を遵守し、産業廃棄物収集運搬業者等、産業廃棄物処分業者等との契約書（写し）及び収集運搬業・処分業の許可証（写し）を監督員に提出すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）または電子マニフェストにより、適正に処理されたことを確かめるとともに監督員に提示すること。また、完成検査時に検査員に提示すること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり	<input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ））
	<input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）） <input type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ））
		<input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議95適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>施工条件</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 施工</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負契約約款、設計図書（別冊の図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書）に明示されていない事項であっても、機能上及び施工上当然必要と認められるもの、並びに取合いのはつり・補修・復旧は、受注者の負担において処理すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 工事期間中（養生期間中を含む）の工事箇所隣接する乗入れについて、所有者（使用者）と施工前に協議し、施工時間の調整を行い、必要に応じ鉄板等を用いるなど乗入れを確保すること。また、受注者は、完成後の乗入れの形態を所有者に事前に説明し、了承を得ること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 排水構造物の施工中は、常に通水可能な状態を確保すること。また、降雨時等は状況把握に努め、必要に応じて臨機の措置を講じること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事箇所に官民若しくは民民の境界を示すもの（杭、紙、プレート等）が発見された場合は、オフセット等境界を示すものの位置が明確となる資料及び状況写真を添付し、施工前に監督員に報告すること。 また、用地付近又は官民境界付近に接して工事を行う場合には、地権者の了承を得て着手すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 環境対策</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現場施工及び、現場外走行時の防塵対策については、周囲に粉塵等の影響が無いよう対策を講じ、通行及び人家に対し十分配慮すること。万が一被害が生じた場合は、受注者の責において解決にあたるものとする。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 既存排水施設等に影響を及ぼす恐れのある濁水（土粒子を多量に含むもの）、沈砂または濾過施設を通すなど濁りの除去等の行った後、放流すること。また、万が一環境に影響を及ぼす事態が発生した場合は、受注者の責において解決に当たること。</p>
	<p><input type="checkbox"/> 支援技術者</p>	<p><input type="checkbox"/> (1) 本工事の現場における現場技術業務を（公財）三重県建設技術センターに委託するため、支援技術者が監督員に代わって施工体制点検、現場立会、観察又は検測を行う場合は、業務に協力すること。また、書類（施工体制台帳、施工計画書、報告書、データ、図面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じること。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しない。</p> <p>(2) 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合は、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。</p> <p>(3) 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。</p> <p>(4) 本工事を担当する支援技術者については、監督員からその氏名を通知する。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有を行う場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。実施方法については、津市建設工事電子メールを活用した情報共有に関する実施要領に基づき、監督員の指示によるものとする。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板の使用</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> デジタル工事写真の電子小黒板を使用する場合は予め工事打合簿にて監督員に報告を行うこと。また、三重県デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）に準拠すること。</p>
	<p><input type="checkbox"/> ICT活用工事</p>	<p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（小規模土工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（舗装工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（法面工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（地盤改良工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（河川浚渫）特記仕様書【施工者希望型】」令和4年1月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（舗装工（修繕工））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（擁壁工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（基礎工）特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（構造物工（橋脚・橋台））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「ICT活用工事（構造物工（橋梁上部））特記仕様書【施工者希望型】」令和6年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 週休2日モデル工事</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 「特記仕様書（土木工事編）（受注者希望型）」を適用（津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休2日モデル工事の試行について」を参照）</p> <p><input type="checkbox"/> 「特記仕様書（土木工事編）（発注者指定型）」を適用（津市HP「調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）、週休2日モデル工事の試行について」を参照）</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議96適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
施 工 条 件	<input checked="" type="checkbox"/> 熱中症対策	<input checked="" type="checkbox"/> 「熱中症対策に資する現場管理費の補正に関する特記仕様書（三重県）に準拠すること。また、「気温の計測方法」「計測結果の報告方法」「具体的な熱中症対策の方法」について施工計画書に記載するとともに、熱中症対策実施後においては、実施状況について写真を添付して報告すること。
	<input type="checkbox"/> 公園内工事	<input type="checkbox"/> 公園利用者の安全確保につとめ、工事箇所にて工事関係者以外が立ち入ることのないよう、注意して施工するものとする。
	<input type="checkbox"/> 災害復旧	<input type="checkbox"/> 工事用道路として使用する敷地は、施工期間中及び施工終了時に原形に復旧すること。また、地権者より制約条件、時間的制約等、要望された場合は、速やかに監督員に報告すること。 <input type="checkbox"/> 本工事は、建設工事請負契約書の条項第29条第4項の「特記仕様書で定める災害応急対策又は災害復旧に関する工事」の対象工事である。
	<input type="checkbox"/> 工事用機材の保管及び仮置きが必要あり	<input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 現場発生産品あり	<input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 支給品あり	<input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ） 時期（令和 年 月 日） その他（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 現場密度の測定の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 開削埋戻しの品質管理として、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書 建設工事施工管理基準（案）品質管理 道路土工に準拠する）を行うこと。また、測定は、延長100m毎に測定することとし、測定位置は、埋戻し深さの1/2程度とする。また、測定頻度は1回（3試料）以上とし、縦断方向に3試料を測定すること。なお、測定費用は受注者の負担とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 立坑埋戻しの現場の品質管理として、現場密度の測定（三重県公共工事共通仕様書 建設工事施工管理基準（案）品質管理 道路土工に準拠する）を行うこと。また、埋戻し深さが5m未満の立坑の試験位置は、埋戻し深さの1/2程度の位置及び埋戻し天端の2箇所とし、試験頻度は1回（3試料）以上とする。埋戻し深が5m以上の立坑の試験位置は、概ね均等な間隔となるよう設定する。試験頻度は3mにつき1回（3試料）以上とする。なお、費用は受注者の負担とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 砂基礎材料	<input checked="" type="checkbox"/> 砂基礎材の規格については、最大粒径20mm以下、且つ0.075mmふるい通過質量百分率0～20%以下とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 埋戻し材料	<input checked="" type="checkbox"/> 【購入土】掘削土（現場発生土）は、設計図書で明示する試験を実施し試験結果を監督員に報告すること。なお、試験結果により掘削土（現場発生土）が埋戻し材料に適している場合は、監督員と協議し、流用土に変更する。 <input type="checkbox"/> 【流用土】掘削土（現場発生土）は、設計図書で明示する試験を実施し試験結果を監督員に報告すること。なお、試験結果により掘削土（現場発生土）が流用土に適していない場合は、監督員と協議し、適した材料に変更する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公共ます	<input checked="" type="checkbox"/> 公共ます設置位置申請書等に基づき設置すること。また、施工前に必ず申請者及び使用者に設置位置等を再度確認し、承諾後に施工すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 申請者及び使用者より設置位置等の変更の申し出があった場合は、監督員に報告し、処理対応方法について、監督員の指示を受けること。 <input checked="" type="checkbox"/> やむを得ず管止めとなる場合は、その理由を明確にし、申請者に説明するとともに監督員の承諾を得た後に管止めとする。また、管止めの位置がわかるようにピン等で表示するとともに本市指定の管止め調書に状況がわかる写真を添付し、監督員に提出すること。
<input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり	<input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ）） 数量（ ） 運搬距離（L＝ km）	
<input checked="" type="checkbox"/> 現場パトロール	<input checked="" type="checkbox"/> 公共工事の品質確保の促進を図る目的として、津市政務部財務部検査課において、施工状況の確認等現場パトロールを実施することがある。	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
工 事 支 障 物 件 関 係	<input checked="" type="checkbox"/> 工事支障物件あり	<input checked="" type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 移設時期（ <input checked="" type="checkbox"/> 令和6年11月頃予定 <input type="checkbox"/> 別途協議） <input type="checkbox"/> 防護（ ）
	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議97適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
監督の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般監督 （ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。） <input type="checkbox"/> 重点監督	重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】 <input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。 <input type="checkbox"/> 対象工種（ ） ※これ以外は、一般監督とする。
仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり	<input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 転用あり（ 回） <input type="checkbox"/> 兼用あり（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 水替工（縮切排水工）	<input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし <input checked="" type="checkbox"/> 施工条件の指定あり ① 水替工（縮切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数： 0.8 日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（縮切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	<input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ） <input type="checkbox"/> 施工方法（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
再生材使用関係	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生Asコン <input checked="" type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂 ） <input checked="" type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ）
	<input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	<input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について <input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すること。 （認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品 <input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ ）） <input checked="" type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ） <input type="checkbox"/> その他（ ）
コリンズ作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> コリンズ（CORINS）の作成・登録	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土情報交換システム	<input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 工事完成報告書の提出部数は2部とする。また、様式については、津市ホームページ（入札等に関する各種様式（工事・コンサル）に定められたものとする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真	<input checked="" type="checkbox"/> 完成写真は、着手前・施工中・完成時に、起点及び終点において必ず同一方向となるように撮影し、3枚1組として、工事写真帳の上段・中段・下段に整理し、完成写真として提出するものとする。（提出部数 2部 用紙サイズ：A4）
	<input checked="" type="checkbox"/> 施工計画書（作業主任者）	<input checked="" type="checkbox"/> 作業主任者を選任すべき作業については、作業名及び作業主任者の氏名等を施工計画書へ記述するとともに資格者証の写しを施工計画書へ添付して提出すること。また、就業制限の対象業務及び特別教育の必要な対象業務も同様とする。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議98適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
提出書類	<input checked="" type="checkbox"/> 施工体制台帳	<input checked="" type="checkbox"/> 工事を施工するために下請契約（一次下請負人となる警備業者との契約含む）を締結した場合、工事着手までに、原則として電子データで施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、添付書類も含めその写しを監督員に提出すること。また、施工体制に変更が生じた場合も同様とする。
	<input checked="" type="checkbox"/> 部分下請通知書	<input checked="" type="checkbox"/> 工事の一部分において、下請負に付する場合には、部分下請通知書を当該下請負業者の施工開始日までに提出すること。部分下請通知書には、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、主任技術者等の資格者証の写し及び主任技術者等の雇用関係書類を添付するものとする。なお、建設業にない下請負の場合、書面上の主任技術者を作業責任者等と読み替え、下請負業者に当該業務の資格者証の写しを添付するものとする。また、添付書類については、施工体制台帳と兼ねることができる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 工事使用材料	<input checked="" type="checkbox"/> 工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月）に示す規格に適合したものとする。また、使用する材料の品質証明の資料確認（提示及び提出）は、施工計画書作成時に監督員と協議すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 本管TV調査結果	<input checked="" type="checkbox"/> 管渠敷設後は、テレビカメラにて管内を確認し成果品をDVD-Rにて提出すること。なお、漏水等を発見した場合は、速やかに監督員に報告し、適切に処置すること。
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
電子納品	<input type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む）	<input type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 電子納品対象外	また、受注者が希望しない場合は監督員の承諾を得て、電子納品としないことができる。 電子媒体の提出部数は、（ <input type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> （ ）部 ）とする。 <input type="checkbox"/> 三重県CALS電子納品運用マニュアル（令和6年7月改訂）を適用
薬液注入関係	<input checked="" type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> 設計条件（設計書参照） 工法区分（二重管ストレーナ工法） 材料種類（無機） 施工範囲（図面参照）
	<input checked="" type="checkbox"/> 提出書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> 削孔数量（数量計算書参照） 注入量（数量計算書参照） その他（ ）
	<input checked="" type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	<input checked="" type="checkbox"/> 工法関係（施工計画書） 材料関係（材料確認書）
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）
社会保険等未加入対策	<input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	<input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
法定福利費の負担	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費を明記した標準見積書の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。 （津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）
配慮依頼事項	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託において市内本店事業者の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料の市内本店事業者からの調達及び地元製品の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用することに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れ	<input checked="" type="checkbox"/> 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすることに配慮すること。
	<input checked="" type="checkbox"/> 使用人等において市民の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用するよう配慮すること。
特例監理技術者の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 特例監理技術者の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 本工事は、建設業法第26条第3項ただし書の規定（監理技術者（特例監理技術者）の配置）を適用する。なお、配置を行う場合は、追加特記仕様書【特定管理技術者等の配置】に示す要件を全て満たさなければならない。（三重県HP「三重県の公共事業情報」参照）
時間外労働の上限規制の適用	<input type="checkbox"/> 時間外労働の上限規制の適用	<input type="checkbox"/> 本工事は、労働基準法第139条第1項「災害時における復旧及び復興の事業」に該当する工事である。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市公契約条例	<input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例に関する特記 <input checked="" type="checkbox"/> 労働環境の確保に係る誓約事項	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図るため必要な事項を定める。 1 受注者の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、別紙誓約事項に違反したとき。 <input checked="" type="checkbox"/> 津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し関係機関からは正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。
暴力団等の不当介入の排除等	<input checked="" type="checkbox"/> 暴力団等の不当介入の排除等に関する特記	<input checked="" type="checkbox"/> 締結する契約等から暴力団、暴力団関係者、暴力団関係者法人等（以下「暴力団等」という。）の不当加入を排除し、契約等の適正な履行を確保するため必要な事項を定める。 1 受注者の義務 (1) 契約の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに発注者に文書にて報告するとともに所管の警察署に通報し捜査上必要な協力を行うこと。 (5) 捜査上必要な協力を行ったときは、速やかに発注者に文書にてその内容を報告すること。 (6) 受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等が必要となったときは、発注者に契約金の延長を求めることができる。

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明示項目	明示事項	条件及び内容
<p>暴力団等の不当介入の排除等</p>		<p>2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置</p> <p>(1) 入札参加資格等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準に基づく指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>(2) 上記1 受注者の義務に違反した受注者等に対しても、指名停止措置を講ずるものとする。</p> <p>3 契約等の解除</p> <p>(1) 暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。</p>
<p>建設業退職金共済制度に係る事務手続き</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについて</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度に係る事務手続きについては下記のとおりとする。</p> <p>1 建設業退職金共済制度への加入 受注者は、三重県公共工事共通仕様書に定めるところにより、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入すること。</p> <p>2 契約締結時の提出書類 工事の受注者は、必要な枚数の共済証紙を購入し、原則として契約締結後1ヶ月以内に、取扱機関から交付される掛金収納書を「掛金収納書提出用台紙」に添付して、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。ただし、電子申請方式により退職金ポイントを購入する場合は、契約締結後原則として40日以内に、電子申請専用サイトで発行される掛金収納書（電子申請方式）について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。自社で退職金制度がある等の理由により、証紙を購入しない場合は「建設業退職金共済証紙購入適用除外届」について、調達契約課の確認を受けた後、工事担当課へ提出すること。</p> <p>3 共済証紙購入額 掛金収納書提出用台紙の「当該工事における共済証紙購入の考え方」1～4によるものとし、当該労働者の就労予定延べ人数や、当該工事における労働者の制度加入率の把握に努め、「考え方」2又は3によることが望ましいが、これにより難しい場合は「考え方」1とし、契約金額（税込）の1000分の1.7以上を目途とすること。</p> <p>4 共済証紙等の管理 購入した共済証紙については、「工事別共済証紙受払簿」を作成し購入枚数や交付枚数の管理に努めること。また、適切に対象労働者の就労状況等を把握し、共済証紙の交付等を行うこと。</p> <p>5 工事完成後の提示書類 工事完成後、速やかに掛金充当日数と証紙購入日数に概ね齟齬がないことを確認し、「掛金充当実績総括表」を作成し、監督員に提示すること。また、事務手続きの履行状況を確認するため、必要に応じて「工事別共済証紙受払簿」又はその他関連書類の提示を求める場合がある。</p> <p>6 建設キャリアアップシステムの活用 建設キャリアアップシステム（以下 CCUS という。）に事業者登録を行っている受注者は、カードリーダーの設置等の就業履歴が蓄積可能な環境整備に努めること。また、CCUS の活用により対象労働者の就労状況等を適切に把握し、就業履歴数と対象労働者の就労状況報告との間で齟齬が生じないように留意すること。</p>
<p>津市工事請負の地元調整</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 本工事の地元調整については下記のとおり行うものとする。</p> <p>1 趣旨 津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。</p> <p>2 発注者及び受注者の責務</p> <p>(1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。</p> <p>(2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。</p>

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

明 示 項 目	明 示 事 項	条 件 及 び 内 容
津市工事請負の 地元調整		<p>3 定義</p> <p>(1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。</p> <p>(2) 「不当要求行為等」とは、</p> <p>ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為</p> <p>イ 暴力行為、脅迫行為</p> <p>ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為</p> <p>エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為</p> <p>オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為</p> <p>カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為</p> <p>(3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。</p> <p>4 工事説明の進め方</p> <p>(1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。</p> <p>(2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関する内容を、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。</p> <p>(3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。</p> <p>(4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。</p> <p>(5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。</p> <p>(6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。</p> <p>5 不当要求行為等</p> <p>(1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。</p> <p>(2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。</p> <p>(3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。</p>
その他	<input type="checkbox"/> その他（ ）	<input type="checkbox"/> その他（ ）

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議02適切な措置を講ずるものとする。
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

工期算定書

工期の算定には、施工に必要な実働日数以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	:	30	日
後片付け期間	:	20	日
雨休率 [※]	:	0.86	
その他作業不能日	:	0	日

※休日と天候等による作業不能日を見込むための係数

(雨休率 = (休日数 + 天候等による作業不能日) / 実働可能日数)

休日には、日曜日、祝日、年末年始及び夏季休暇の他、作業期間内の全ての土曜日を含んでいる。

天候等による作業不能日は、以下を見込んでいる。

- イ) 1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日
- ロ) 8時から17時までのWBGT値が31以上の時間を足し合わせた日数